

はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを
合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

HEART SHIP

特集

豊かに楽しく生きるコツ ～ワークとライフのハーモニー♪♪～

はーと・シップチェック ～ワーク・ライフ・バランス編～

●あなたの仕事と生活のバランスは大丈夫？

- | | | |
|---------------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| ①私には大好きな趣味がある。 | <input type="checkbox"/> Yes | <input type="checkbox"/> No |
| ②私の休日は充実している。 | <input type="checkbox"/> Yes | <input type="checkbox"/> No |
| ③住んでいる町の活動やPTA活動などに積極的に参加している。 | <input type="checkbox"/> Yes | <input type="checkbox"/> No |
| ④仕事を続けたかったけど、妻は出産を機に退職した。 | <input type="checkbox"/> Yes | <input type="checkbox"/> No |
| ⑤忙しかったり子どもや要介護者を預けるところ(人)がなく、病院に行けない。 | <input type="checkbox"/> Yes | <input type="checkbox"/> No |
| ⑥子育てや介護など、仕事と両立できるサービスを利用している。 | <input type="checkbox"/> Yes | <input type="checkbox"/> No |
| ⑦「ワーク・ライフ・バランス」を知っている。 | <input type="checkbox"/> Yes | <input type="checkbox"/> No |

チェックしてみて何か気付いたことはありますか？ワーク・ライフ・バランスとは何か考えてみましょう。

講演会報告 「変わる家族のカタチ～これからの『育児』や『介護』を考える～」

講師：渥美由喜さん(厚生労働省 政策評価に関する有識者会議委員・東し経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)

平成25年度 講演会 6月16日(日) 14:30～16:30 うるおい交流館 エクラ 大会議室にて



「イクメン」という言葉の生みの親でもあり、ワーク・ライフ・バランスの第一人者である渥美由喜さんの講演会を開催しました。少子高齢化が進む中、ワーク・ライフ・バランスに取り組む意義や必要性など、様々なデータを元に解説されました。

仕事をしながら、ご自身が実践されている育児や実父の介護の体験から浮かび上がる課題や困難を乗り越えるヒントなども熱く語られました。

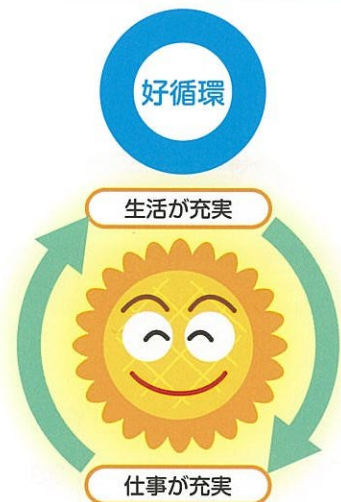
ワーク・ライフ・バランスとは“幸せ”への道しるべであり、誰もが人生の『主人公』。みなに公平に与えられている「時間」を上手に使い、ワークもライフも充実した毎日を過ごすことが大切だと話され、それぞれの立場で仕事と生活のバランスをふり返る機会となりました。

特集 豊かに楽しく生きるコツ

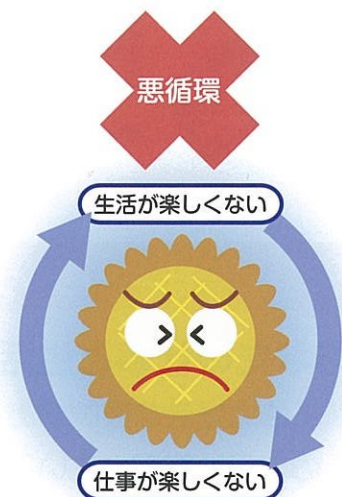
～ワーク (=仕事) とライフ (=生活) のハーモニー♪～

仕事は暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことができません。
自らの仕事と生活の調和のあり方を考えてみませんか？

ワーク・ライフ・バランスとは…



「働くこと」と「休むこと」を区別するのではなく、それぞれの中であって調和がとれているということ。そもそも、仕事と生活とは切っても切れない関係。そのどちらともを充実させていくことで、「仕事」と「生活」の両方を楽しく充実させるための仕組み作りをワーク・ライフ・バランスといいます。



職場 いきいき

日本人は「世界一の働き者」と言われているように、労働時間はとても長く、毎日の残業や休日出勤などで、自分の趣味を楽しむ時間や、家族と関わる時間が少なくなっているのが現状です。

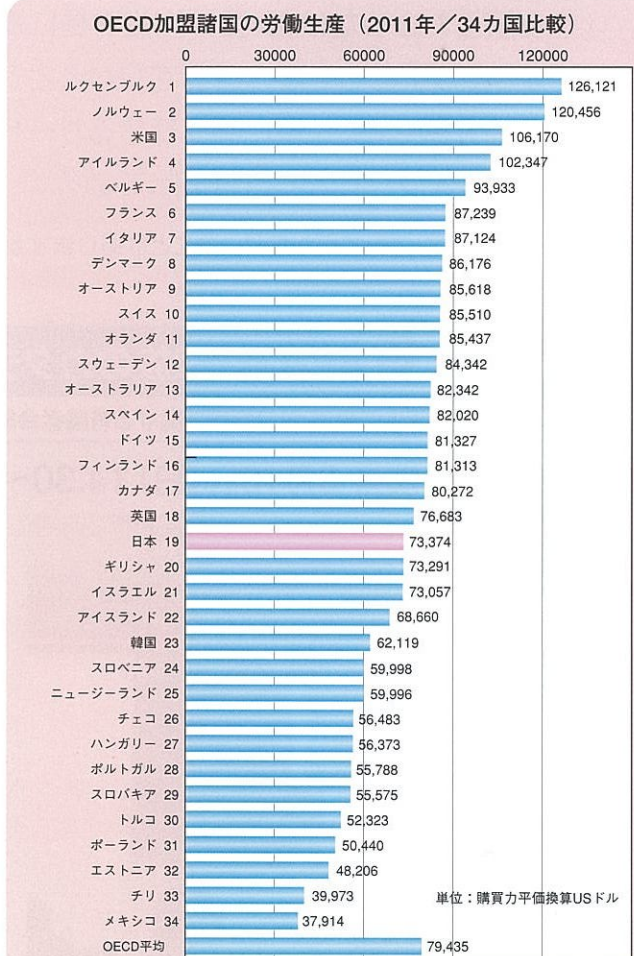
しかし、右表でもわかるように、日本の労働生産性(※1)は世界の中でも低い位置にあり、主要先進7カ国では1994年から18年連続で最下位となっています。

仕事の効率を上げ、いきいきとした職場づくりをしていくためには、私たち一人ひとりの意識改革が不可欠であり、「仕事」と「生活」の調和がとれるワーク・ライフ・バランスへの取り組みを実践することが求められています。

仕事以外の時間(趣味や家庭生活)が充実すれば、そこから得られる知識や視野が広がり、仕事へのモチベーションも上がるという相乗効果が期待できます。



※1労働生産性：労働者1人当たりの生産量または生産額のこと。労働生産性が高いと効率的で効果的な労働投下ができているといえる。



資料出所：公共財団法人日本生産性本部「日本の生産性の動向 2012年版」より

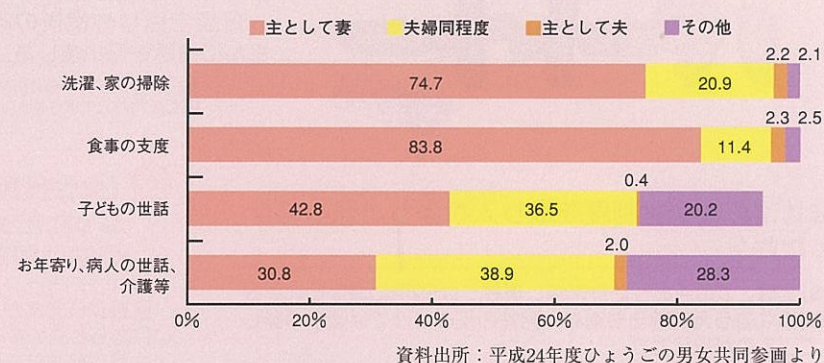
家族の絆

家庭での食事の支度は8割、洗濯、家の掃除は7割を妻が担っている

家庭での役割分担 (兵庫県)

「食事の支度」の83.8%、「洗濯・家の清掃」の74.7%は、主として妻が担っています。「子どもの世話」や「お年寄りの世話、病人の世話、介護等」は夫婦同等程度がいずれも4割程度となっています。

備考：兵庫県「県民意識調査」(平成21年)



共働き家庭が増えているにもかかわらず、「男性は仕事、女性は家事」という考え方がまだまだ根深く残っているのが現状です。

少子高齢化が進む現在において、女性の労働生産力は不可欠であり、また「育児・介護」も女性(妻)だけの問題ではなくなってきました。

家庭の中でもお互いを尊重し、協力し合うことによって、家族のパートナーシップが強くなり、絆も深まります。

そのためにもワーク・ライフ・バランスを上手に取り入れ、心にゆとりが持てるような個々の時間の充実を図ることが大切です。



地域力アップ

地域で活動する女性リーダーは依然少ない

地域リーダーの女性割合 (兵庫県)

自治会長に占める女性割合は5.4%(全国4.1%) PTA会長に占める女性割合は20.5%(全国10.5%)ですが、地域で活動する女性リーダーは依然として少ない状況です。

備考：兵庫県企画県民部調べ (注)「女性割合(全国)」欄はH22の数値

区分	女性割合	女性割合(全国)
自治会長(兵庫県：H23)	5.4%	4.1%
PTA会長(小中学校単位)(兵庫県：H23)	20.5%	10.5%

資料出所：平成24年度ひょうごの男女共同参画より

職場や家庭でワーク・ライフ・バランスが進めば、お互いが協力し合うことで生まれるゆとりの中で、住んでいる地域の活動にも参画することができます。

地域の活動に参画すれば近隣とのネットワークも広がり、特に災害時など、いざという時にも安心です。地域づくりは男性の視点も女性の視点も両方必要です。地域で活動する女性リーダーはまだまだ少ない現状ではありますが、お互いに手を取り合って住みよいまちづくりができればいいですね。(市で自治会役員女性参画推進事業補助金創設)

ひとりひとりが日々の暮らしを大切にすることによって、豊かな生き方につながることでしょ。



平成25年度 おのウィメンズ・チャレンジ塾が始動!!

男女共同参画社会の実現に向けて地域役員や公共性の高い活動(審議会委員)などに参画できる女性をめざし、「おのウィメンズ・チャレンジ塾」が始まっています。

今年11月に予定されている「女性議会」への参加を目指して挑戦中です。今後の皆さんの活躍が楽しみです。

※8月以降の日程内容詳細は小野市男女共同参画推進グループのHPをご覧ください。

研修日時	内容
第1回 6月4日	・開講式 ・「男女共同参画推進 なぜ意思決定の場に女性の参画が必要か」 【講師】神戸親和女子大学発達教育学部 教授 勝木洋子さん
第2回 7月9日	・小野市の行政説明 ・グループ分け 【講師】小野市総合政策部 男女共同参画学習アドバイザー 清水英子さん
第3回 7月16日	・グループで質問内容の方向性決定 【講師】男女共同参画学習アドバイザー 清水英子さん

ハートフル パートナー

Vol.23

東本町では、今年度より小野市が創設した「自治会役員女性参画推進事業補助金制度」(※2)を利用し、町役員にはじめて女性を登用されました。区長をはじめ役員のみなさんにお話を伺いました。

左から 貝原一さん、藤井清文さん、藤原君子さん、岸本弥生さん



Q なぜ市の補助金制度を取り入れようと思われましたか？

・東本町では、130戸あった世帯が、現在では50戸に減少し、財政難が深刻になるうえ高齢化も進み、男性の役員だけでは運営が難しくなっているのが現状です。ちょうど市が創設した助成金制度の話聞き、総会に諮ったところ全会一致で賛同を得ることができました。

Q 女性が役員に加わられて感じたことは何ですか？

・雰囲気も良くなり、みんな大歓迎です。
・女性の視点からの意見を反映させながら、バラエティーに富んだ行事などを広げていきたいです。

※2「自治会役員女性参画推進事業補助金制度概要」
毎年自治会役員に2名以上の女性を登用する自治会に年額一律10万円を補助。さらに、登用された女性役員のうち1名以上が、自治会長、副会長、会計の場合は加算10万円。
年度に1回の申請とし、平成27年度までは毎年申請することができる。
(詳細は、小野市男女共同参画推進グループHPをご覧ください。)

Q (女性役員への質問) 役員を受けることになったきっかけ、受けてみようと思われた理由は何ですか？

・区長からお声がかかり、町のために何か自分にできることをやっていけたらと思いました。
・夫が以前会計をしており、財政難を知って、協力しようと思いました。

Q 役員をやってみて感じたことは何ですか？

・区長の、まとめていく大変さや気苦労がわかりました。
・役員になってまだ2ヶ月なので、具体的なところはこれからではありますが、大先輩の意見を聴きながらお役に立てばという気持ちでやっていきたいです。

Q 皆さんの“思い”をお聞かせください。

・町内で、家族のようなつきあいをより一層大切に、女性も“参加”ではなく“参画”してほしいです。
・女性役員が増えるように、私たちが土台となつてがんばりたいです。

住んでいる地域を愛し、町の一人ひとりの意見を大切にしたいという思いや、男女の枠を超えた参画への取組み、女性が役員になるという新しいことへの挑戦が、よりよい未来へとつながっていくのではないのでしょうか。

無料相談窓口案内 市外の相談窓口もご利用頂けます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同参画推進グループ	女性のためのさまざまな相談	小野市中島町 72 小野市うるおい交流館 エクラ内	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30
			面接相談 (予約制) //	木曜日 13:00~16:00
※託児ご希望の方は、ご相談ください。				
小野市民病院	女性のための医療専門相談	小野市中町 323 小野市民病院内	面接相談 (予約制) 0794-63-2020	木曜日 14:00~16:00 9月19日(木)まで相談可
小野市ヒューマンライフグループ	いじめ等相談 (ONOHまめほっとライン)	小野市役所内	電話・面接相談 (随時) 0794-62-4110	月曜日~金曜日 9:00~17:00
兵庫県立男女共同参画センター	女性のためのなやみの相談	神戸市中央区 東川崎町 1-1-3 (神戸クリスタルタワー7階)	電話相談 078-360-8551	月~土曜日 9:30~12:00 13:00~16:30
	男性のための相談		電話相談 078-360-8553	第1・3 火曜日 17:00~19:00
	妊娠総合相談		電話相談 078-360-1388	第1・3 土曜日 10:00~16:00
※詳しくは、078-360-8550 へお問い合わせください。				
兵庫県女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	電話相談	—	電話相談 (随時) 078-732-7700	毎日 9:00~21:00
日本司法支援センター (法テラス)	法的トラブルに関する情報提供	—	電話番号 0570-078374	平日 9:00~21:00 土曜日 9:00~17:00

本誌に対するみなさまの率直なご意見や感想をお聞かせください。ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター (NPO 法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町 72 番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL 0794-62-6765 FAX 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp

Information

● 啓発セミナー 「シニアのためのパワーアップ講座」

夫婦でのこれからの暮らしについて考えてみませんか？お互いがいきいきと、気持ちのよい毎日を過ごすために役立つ情報がたくさん詰まった講座です。

日時	テーマ	講師
① 9月4日(水) 10:00~12:00	いきいきとした毎日過ごすための秘訣！ ~健康づくりのポイントを学ぶ~	下山洋子さん (看護師・介護支援専門員)
② 9月11日(水) 10:00~12:00	お互いが気持ちよく生活するための秘訣！ ~妻に依存しない生活自立を考える~	石蔵文信さん (大阪樟蔭女子大学 学芸学部 健康栄養学科)
③ 9月11日(水) 12:00~13:00 調理片付け含む	初心者でも大丈夫！ 男性のための簡単料理教室 ~土鍋ひとつで作る「ええ加減料理」~	

募集定員：①・②おおむね団塊世代以上の男女25名
③ 男性のみ15名
参加費：①・②無料 ③のみ500円 (材料費)

● 講演会「すぐに使える！子どもの可能性を引き出すヒント」

子どもたちの自尊感情を育て健やかな成長のために、身近な大人たちがどのように関わっていけばいいかを一緒に学んでみませんか。

日時:10月27日(日) 13:30~15:30
講師:金 香百合さん(ホリスティック教育実践研究所所長)

※詳細は…
小野市男女共同参画センター事務局
TEL: 0794-62-6765まで